

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成29年11月9日(2017.11.9)

【公開番号】特開2016-78279(P2016-78279A)

【公開日】平成28年5月16日(2016.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-029

【出願番号】特願2014-209954(P2014-209954)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 6 5 H 7/14 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 2/01 3 0 5

B 4 1 J 2/01 4 0 1

B 4 1 J 2/01 4 5 1

B 6 5 H 7/14

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月26日(2017.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録ヘッドを第1の方向に移動させつつ前記記録ヘッドの記録素子によって記録媒体に画像を記録する記録走査と、前記記録媒体を前記第1の方向と交差する第2の方向に搬送する搬送動作と、を繰り返すことによって、前記記録媒体に画像を記録する記録装置であつて、

前記搬送動作によって前記記録媒体に生じる搬送による前記第1の方向のずれ量を取得する取得手段と、

前記記録走査における画像の記録位置を設定する設定手段と、

前記取得手段によって取得した前記ずれ量に基づいて、前記設定手段によって設定される前記記録位置を補正する補正手段と、

を備えることを特徴とする記録装置。

【請求項2】

前記取得手段は、前記第1の方向における前記記録媒体の端部の位置を光学的に検出するセンサを含むことを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項3】

前記設定手段は、前記搬送動作の前の前記記録走査によって記録した第1の画像の記録位置と、前記搬送動作の後の前記記録走査によって記録した第2の画像の記録位置と、のずれに基づいて、前記記録位置を設定することを特徴とする請求項1または2に記載の記録装置。

【請求項4】

前記第1および第2の画像は、複数組の調整パターンを形成するために重ねて記録される複数の第1および第2のパターンを含み、前記複数組の調整パターンは、前記第1の方向における前記第1のパターンと前記第2のパターンのずれ量が異なることを特徴とする請求項3に記載の記録装置。

【請求項5】

前記記録素子は、前記第2の方向と交差する方向に延在する記録素子列を成すように複数配備され、

前記第1のパターンは、前記記録素子列の中央よりも前記第2の方向の上流側に位置する記録素子によって記録され、

前記第2のパターンは、前記記録素子列の中央よりも前記第2の方向の下流側に位置する記録素子によって記録される

ことを特徴とする請求項4に記載の記録装置。

#### 【請求項6】

前記記録素子は、前記第2の方向と交差する方向に延在する第1および第2の記録素子列を成すように複数配備されて、前記第1の記録素子列が前記第2の方向の上流側に位置し、かつ前記第2の記録素子列が前記第2の方向の下流側に位置し、

前記第1のパターンは前記第1の記録素子列によって記録され、

前記第2のパターンは前記第2の記録素子列によって記録される

ことを特徴とする請求項4に記載の記録装置。

#### 【請求項7】

前記設定手段は、前記搬送動作の前の前記記録走査による画像の記録位置に対して、前記搬送動作の後の前記記録走査による画像の記録位置を設定することを特徴とする請求項3から6のいずれか1項に記載の記録装置。

#### 【請求項8】

前記設定手段は、前記第1および第2の画像の記録位置のずれを光学的に検出するセンサを含むことを特徴とする請求項3から7のいずれか1項に記載の記録装置。

#### 【請求項9】

前記設定手段は、前記第1および第2の画像の記録位置のずれに関する情報が入力される入力部を含むことを特徴とする請求項3から7のいずれか1項に記載の記録装置。

#### 【請求項10】

前記記録素子は、吐出口からインクを吐出可能であることを特徴とする請求項1から9のいずれか1項に記載の記録装置。

#### 【請求項11】

記録ヘッドを第1の方向に移動させつつ前記記録ヘッドの記録素子によって記録媒体に画像を記録する記録走査と、前記記録媒体を前記第1の方向と交差する第2の方向に搬送する搬送動作と、を繰り返すことによって、前記記録媒体に画像を記録する記録方法であって、

前記搬送動作によって前記記録媒体に生じる搬送による前記第1の方向のずれ量を取得する取得工程と、

前記記録走査における画像の記録位置を設定する設定工程と、

前記取得工程によって取得した前記ずれ量に基づいて、前記設定工程によって設定される前記記録位置を補正する補正工程と、

を含むことを特徴とする記録方法。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の記録装置は、記録ヘッドを第1の方向に移動させつつ前記記録ヘッドの記録素子によって記録媒体に画像を記録する記録走査と、前記記録媒体を前記第1の方向と交差する第2の方向に搬送する搬送動作と、を繰り返すことによって、前記記録媒体に画像を記録する記録装置であって、前記搬送動作によって前記記録媒体に生じる搬送による前記第1の方向のずれ量を取得する取得手段と、前記記録走査における画像の記録位置を設定する設定手段と、前記取得手段によって取得した前記ずれ量に基づいて、前記設定手段に

よって設定される前記記録位置を補正する補正手段と、を備えることを特徴とする。